

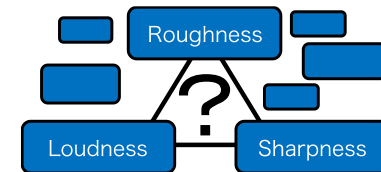
設計現場の音質評価



カンコツのみに頼らない
定量化指標の構築

研究目的

音質評価の**評価語**を
物理量、物理現象に
基づいて定量化



新規指標提案により
ブランド音質の統制
設計効率の向上に貢献



研究内容

物理量に基づく評価語選定

評価語として「拡がり感」に、
物理量として「残響時間」に注目

聴取環境



音響モード
残響時間
etc...

機器設計



周波数特性
高調波歪み
etc...

再生音源



標本化周波数
量子化ビット数
etc...

音響効果



リバーブ
イコライザー
etc...

帯域別残響の影響把握実験

疑似インパルス応答音源の作成
印象変化と体感残響時間の把握

物理量

物理現象

主観評価

客観評価

SD法
一対比較法
その他

音響指標
音源分析

聴感特性を考慮した残響指標

物理量と感覚量の関係を整理
拡がり感に寄与する指標の構築

主観量・客観量を数値化

整理・分析・処理

新規指標化